
目次

【1】 --- 教員コラム 15 弾 第 5 回「附属図書館の貴重資料」

人文・社会科学教室 / 八木聖弥

【2】 --- メディカルオンライン eBooks は今月末まで

【3】 --- WILEY 論文投稿オンラインセミナー

「査読者との効果的なコミュニケーションのポイント」

【4】 --- UpToDate セミナー入門編、徹底活用編

【5】 ---[予告]令和 3 年度第 2 回企画展示<映像がたり>展

[Book Review] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

【1】 --- 教員コラム 15 弾 第 5 回「附属図書館の貴重資料」

人文・社会科学教室 / 八木聖弥

今年には本学が医学専門学校から大学（旧制）に昇格して 100 周年に当たり、10 月 23 日に記念式典が催される。来年は創立 150 周年で慶事が続く。これを機に初心を見つめ直し、将来への道標とすることも必要であろう。

本学附属図書館には、創立以来の貴重な資料が収められている。2 階に重要資料が展示されているほか、地下の貴重書庫には和漢洋の古典籍や講義録があり、一部はデジタルアーカイブとして公開されている。保存庫には文書と写真がそれぞれ数百点ある。このうち明治・大正期の文書については、昨年度竹中洋学長の委嘱により京都府立大学小林啓治先生の協力を得て調査を行い、基礎作業として目録作成と写真撮影を完了した。今後学内外に紹介していく予定である。

文書の中で最も重要な資料のひとつに「解剖場取壊ノ件」（D76）がある。栗田山中に設けられた解剖場を仮療病院のあった青蓮院境内に移転する際の資料である。解剖場が仮療

病院に先駆けて栗田山中に設けられたことはよく知られている。解剖は西洋医学の象徴であった。解剖場が青蓮院に移されたことは、この資料のみが語るところである。移転は一旦すべて解体して行われるため、柱の数など詳細に記録されている。建物の規模は『京都療病院新聞』第3号では南北8間余、東西4間余としているが、実際は南北7間、東西4間であった。西寄りに大俎（解剖台）を置き、残る三方に階段状の長椅子を配した。壁面には当時珍しかった板ガラスをはめ込んでいる。移転に際して部屋を3分割し、ヨンケルの授業に備えたことなどがうかがえる。なお、解剖場は梶井町に再移転され、大切に扱われた。

写真で興味深いのは、猪子止戈之助の肖像である（150周年記念誌に掲載予定）。写真は猪子が中央に立ち、両脇に眼科部長浅山郁次郎、内科部長斎藤仙也が椅子に座っている（F16）。猪子は帝大卒業後、1882年5月に外科担当教諭として赴任、1887年には数え28歳で校長に就いた。彼の写真は晩年のものが多いが、所蔵分は撮影年不明ながら30歳前後のものである。彼は1897年、京都帝国大学医科大学開設に伴い異動した。ほかにも引き抜かれた教諭がいたことから、医学校は存続が危ぶまれたと伝える。しかし、彼が赴任したからこそ、医術開業試験が免除される甲種医学校になった。自分が去った後の支援にも配慮するなど、けっして医学校を見捨てたわけではない。功績は正しく継承すべきであろう。

初心忘るべからず、とは世阿弥の言葉である。一般的には初めてことをなすときの気持ちを忘れないようにとの教訓として理解されている。しかし、世阿弥は初心に3種あるという。是非、時々、老後、である。是非の初心とは成功と失敗を繰り返す若い頃の熱意、時々、の初心とは節目ごとの思い、老後の初心とは高齢になったからこそ分かることを意味する。長い歴史を誇る本学においては、3種の初心を忘れずにいたい。

※過去の教員コラムは、[こちら](#)です。

【2】 --- メディカルオンライン eBooks は今月末まで

.....

医学書や別冊日本臨牀など、6754冊が読める「[メディカルオンライン](#)」電子ブックのトリアルは、あと2週間で終了します。

過去3か月、本学で人気の電子ブックはコレ！

1位 [当直ハンドブック](#)

1位 [慢性臓器障害の診かた、考えかた](#)

3位 [POCKET 精神科 改訂第2版](#)

4位 [呼吸器外科手術書 改訂6版](#)

◆アクセス先：<https://www.medicalonline.jp/> > 「電子書籍」をクリック

- ◆利用案内：[こちら](#)
- ◆配信書籍リスト：[こちら](#)
- ◆トライアル期間：2021/7/1(木)～10/31(日)

インターネットで一括検索できる[研究社の22辞書トライアル](#)も10月末まで。

- ◆アクセス先：<https://kod.kenkyusha.co.jp/service/>

KOD トップ画面の右上「検索ページ」をクリックするとID/パスワード入力画面が表示されます。ID/パスワードは[パスワード一覧](#)に掲載しています。

※一覧を開くにはパスワードが必要です。図書館(内9400)へお問合せください。

- ◆トライアル期間：2021/10/31(日)まで

【3】 --- WILEY 論文投稿オンラインセミナー

「査読者との効果的なコミュニケーションのポイント」

.....

ワイリー社主催のセミナーのご案内です。査読は科学の質保証プロセスとして重要であり、エキスパートとの議論を通して自身の論文をブラッシュアップする最善の機会でもあります。このウェビナーでは、査読のプロセスを概説し、査読者からのコメントへの返答作成上での Tips を紹介します。また、査読者からの提案に異を唱える場合の Tips も併せてご紹介します。

- ◆日時：2021/10/20(水)16:30～17:45
- ◆講師：富田洋介氏
- ◆申込：[こちら](#)（事前の登録が必要）
- ◆配信：GoToWebinar ブラウザで視聴でき、事前にソフトをインストールする必要はありません。

参加は無料。講師とのQ&Aの時間を設けます。またセミナーの最後に、Wiley スタッフによるミニ講座「ハゲタカジャーナルを避けるには」を行います。

終了後、セミナーの録画をオンデマンド配信します。参加登録者へ、開催の翌日にメールで視聴方法をご案内します。

【4】 --- UpToDate セミナー入門編、徹底活用編

.....
ウォルターズクルワー社主催の「UpToDate」オンラインセミナーのご案内です。

①30分でわかる！UpToDate 入門オンラインセミナー

UpToDate の活用に必須の基本機能についてデモンストレーションを交え、分かりやすく説明します。

◆日時：2021/10/19(火) 18:30～19:00

◆詳細・お申し込み：<https://bit.ly/2Qi9KJQ>

◆配信：Cisco Webex（シスコ ウェブエックス）

②UpToDate 徹底活用セミナー

「入門オンラインセミナー」と一部重複しますが、より踏み込んだ解説や未紹介のコンテンツ・機能の紹介を行います。

- ・ 基本的な活用方法（標準・推奨治療法の把握、処方薬の決定支援など）
- ・ 重要な更新内容の把握
- ・ 関連記事から別記事を探す
- ・ 診療ガイドラインへのアクセス
- ・ 薬物相互作用の収録内容について徹底解説
- ・ モバイル環境における活用と音声検索（スマホ・タブレット）

◆日時：2021/11/24(水) 17:30～18:10

◆詳細・お申し込み：<https://bit.ly/3l7Lyqn>

【5】 ---[予告]令和3年度第2回企画展示<映像がたり>展

.....

■期間：2021/10/25(月)～11/13(土)

■場所：附属図書館1階 特設展示コーナー

映画やドラマ・アニメで映像化された原作本を展示します。映像で見たエピソードを原作本で確認するもよし、原作本を読んでから映像を視聴するもよし。秋の夜長、贅沢な時間を過ごしてはいかが？すべて貸出可。お楽しみに！

[Book Review]

山本康正著「2025年を制覇する破壊的企業」(SBクリエイティブ 2020年)

近未来の2025年の社会は、どうなっているのか？GAFAをはじめ、Microsoft、Netflix、など世界最先端11社のトレンドを分析し、未来を予測。3つのメガトレンド「業種の壁崩壊」「ハードでもソフトでもなく体験」「データを制するものが未来を制す」を駆使し、テクノロジーの開発を加速し、サービスを拡大。特にサブスクにより、顧客データを吸い上げ、嗜好にマッチした商品やサービスを提案し続け、更なる利益を追求。iPhone、Amazonを利用する我が身には、データを活用した商品・サービスの提供を歓迎するが、多くの人を便利に、役に立ち、果たして幸せに貢献できるのか、グローバル企業の拡大に期待と不安を感じた。(M.N.) (京都市吉祥院図書館所蔵「[K-Libnet](#)」でも貸出が可能です)

KPUM Library Booklog : <http://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4815607591>

図書館メール News 第450号 2021.10.15発行(隔週金曜日発行)

編集・発行 : 京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>